

2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日)

I. 概況

当協会（TEPIA）は、低金利環境が継続する中、為替変動等の運用リスクを注視しながら、商品・通貨・期間等を考慮した分散投資に努め、適切な資産運用を実施してきた。その結果、2020年度決算においては、当初予算を上回る運用収入を確保することができた。事業収入については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、二度にわたる緊急事態宣言の発出等により、貸会場の利用中止が相次ぎ、感染症拡大防止の観点から、年度を通じて貸会場の貸出を休止すること等としたため、大幅な減収となった。

2019年度末からのコロナ禍の影響の中、非収益事業については展示の休止、リニューアルオープンの予定など事業計画の大幅な見直しを実施した。2020年秋、東京オリンピック・パラリンピック大会の終了後、工事を実施し、10月下旬に6年振りにリニューアルオープンする予定であった先端技術の展示事業について、2021年度後半にオープンを延期せざるを得なくなった。2019年1月時点でほぼ出来上がっていたリニューアル計画は、来館者が展示に直接触れて体験できるものを中心と考えていたため、コロナ禍以降、非接触型のものに全面的に見直す作業を実施した。リニューアルにあたっては従来と同様、次世代の人材（小中高生等）育成に重点を置いた事業を実施していく方針である。また地方でのプログラミング体験イベントであるアウトリーチ事業も5地域での開催を予定していたが、コロナ禍のため、すべての予定地での開催が中止、延期となった。その中においても、過去実施した地域でのイベントにオンラインベースで参加するなどの活動を実施し、コロナ禍以降の新しい活動形式としてのオンライン活動を東京及び地域で実施した。

一方、収益事業である施設賃貸事業については、新型コロナウイルス感

感染症拡大の影響により、貸会場の貸出を年度を通じて休止とするとともに、スポーツジム、レストラン及び駐車場の賃貸についても、先方の減収に伴う賃料減免要望に応じたことから大幅な減収となった。

なお、2021年東京オリンピック・パラリンピック開催後の神宮外苑地区整備計画に関しては、東京都、関係地権者等の動向を踏まえつつ、引き続き、TEPIAとして必要な対応を行った。

その他の事業も含め、2020年度に実施した事業の主な内容は、以下のとおりである。

II. 実施事業の具体的な内容

1. 情報リテラシー事業

本年度は昨年度までのようにTEPIA先端技術館でのプログラミング等の講座や地方で実際に多数の参加者を集めたイベントの開催がコロナ禍により困難となったため、予定していたアウトリーチ事業の開催をすべて中止し、次年度以降への延期とした。その代替として、コロナ禍においても開催可能なオンライン講座の試行、実際の開催を東京及び地方の参加者を対象に実施した。

(1) オンライン講座試行：TEPIA研究員により、オンラインでプログラミング講座を実施し、今後のオンライン活動の課題等の把握にも役立てることとした。下記のように小中学生を対象として異なる内容の講座を開催し、オンライン講座に必要なツール、通信環境、予約等の作業項目の確認を実施。

① オンライン講座 “micro:bit 初めてプログラミング!”

【実施日】 2020年10月3日(土)

② オンライン講座 “3Dモデリング体験～3次元の絵を描こう～”

【実施日】 2020年10月4日(日)

(2) 港区赤坂・青山地区共育事業の一環としてのオンライン講座

港区の赤坂・青山地区において子どもを地域ぐるみで見守り、育てる環境を整備する事業で港区赤坂地区総合支所が域内の団体、企業等と連携して毎年実施しているもの。従来は地域内の公園や TEPIA 先端技術館内においてワークショップなどを実施して、TEPIA が積極的に参画、協力してきた。2020年度はコロナ禍のため、ほとんどの活動が停止せざるを得なくなった中、本事業の事務局と TEPIA とで完全オンラインによる講座を実施した。

① オンライン講座 “親子で体験！micro:bit 初めてプログラミング ○まる×ばつピンポンプーを作ろう”

【実施日】 2020年11月29日（日）完全オンライン

毎年港区檜町公園で実施している共育フェスティバルがコロナ禍のためオンライン開催となり TEPIA もプログラミングを体験できるオンライン講座を実施した。

② オンライン講座 “親子でチャレンジ！3Dモデリング体験～デジタルフィギュアづくり～”

【実施日】 2021年1月24日（日）完全オンライン

対象は赤坂・青山地域在住・在学の小学4年生から中学生

3Dモデリングの操作の基礎をオンラインで学習し、海の生き物をテーマとした3Dの造形物を各人が作成した。そのデータを TEPIA が受け取り、3Dプリンターで出力した作品を作成した参加者に後日送付した。

(3) 港区 kiss ポート財団との共催オンライン講座：“コンピュータはどうやって賢くなる？Scratchで体験！AIでゲームを操作しよう”

港区の公益財団法人である kiss ポート財団と共催で港区在住・在学の子供達に対して、TEPIA の研究員によるオンライン講座を実施。

【実施日】 2021年3月21日（土） 完全オンライン

対象は港区在住・在学の小学4年生から中学生

(4) アウトリーチ事業（地方展開）

地方における、小中学生対象のロボットプログラミング教育活動として、2017年度から毎年全国各地でプログラミング体験広場を開催してきたが、2020年度も全国5地域程度（広島県福山市、長野県長野市、熊本県熊本市、愛媛県新居浜市等）で開催するべく、年度初めには各地域の自治体、大学、高専等と調整して計画を策定していた。しかし、コロナ禍発生のため、予定していた地域と感染状況等を情報交換しながら計画の延期等を検討し、結果的に、予定していた全地域において実施を見送り、2021年度以降の開催の可能性を各地域と相談していくこととした。

一方、2019年度までに開催した地域との間で、オンライン開催を含めた子供向けプログラミングイベントの実施を検討し、下記の3地域でオンライン講座や教材提供等の支援を実施した。

- ① 福島県南相馬市での”ロボテス縁日 ロボット・ドローン大集合“イベントにオンライン講座で参加。

【実施日・場所】

2020年10月31日（土）南相馬市ロボットテストフィールド
地元主催の上記子供向け科学イベントにプログラミング講座を出展。
教材は東京から配送し、少人数のスタッフのみが現地に行き、教える
講師は東京のTEPIAからオンラインで子供達を指導する、オンラインとのハイブリット形式で実施。

- ② 青森県6市での地元団体主催の小学生プログラミング教室への協力

【実施日】 2020年12月5日（青森市）、24日（八戸市）、
25日（十和田市）、
2021年1月7日（むつ市）、9日（五所川原市）、
11日（弘前市）

地元主催の子供向けプログラミング教室にTEPIAが2019年11月に青森市で開催したイベントで使用したプログラミング教材、マニュアル、必要な設備機器等を調整した上、約一か月間貸し出した。貸出にあたっては運用の方法等の指導も実施。

③ 北海道札幌市での地元主催のジュニア・プログラミング・ワールド2021に参加

【実施日】 2021年2月13日（土） 完全オンライン

2018年にTEPIAが参加した上記イベントが今年度オンラインで実施となったことから、東京からTEPIA 研究員が完全にオンラインでmicro:bitを使ったプログラミングの講座を実施（対象は小学4年生から中学生）。また本イベントのバーチャル会場へも出展した。

2. 先端技術などに関する展示事業

(1) 2021年度の展示準備

コロナ禍における安全対策等を重視した2021年の展示リニューアルに向けて、2019年度後半に作成していた新たな企画案の全面的な見直し、再検討を行った。検討の結果、2021年度の前半にインターネット上に先端技術館を3D空間で表現した“デジタルTEPIA”をスタートし、年度後半の秋以降に先端技術館の実物展示及び“クリエイティブラボ”をオープンすることに計画を大幅に変更し、その実現に向けて企画案作成と新規展示企業等との出展交渉を実施した。

3. 顕彰・助成事業等

(1) TEPIAチャレンジ助成事業

将来のイノベーションの担い手を育成するための顕彰・助成事業として2016年度から2019年度まで実施してきた本事業について、2020年度は当初計画どおり、今後見直しを行うことを前提に休止した。

(2) 「TEPIA JUMP!!」事業

2020年度は、前年度に引き続き他事業とのバランスを考えた見直しを行う目的で休止とした。

(3) キッズデザイン賞表彰

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が毎年実施する「キッズデザイン賞表彰」（後援：経済産業省）において、“TEPIA特別賞”を設けており、以下の表彰式においてユカイ工学株式会社にこの賞を授与した。

- ・表彰式：第14回キッズデザイン賞表彰
- ・開催日：2020年9月30日
- ・TEPIA特別賞：「ユカイな生きものロボットキット」
(受賞者) ユカイ工学株式会社 (表彰状授与)

4. 先端技術などに関する映像情報サービス事業

(1) ビデオライブラリーの運営

本事業は、ロボットやAI、ものづくり、生物模倣技術などの先端技術に関するコンテンツなど先端技術に対する理解促進に役立つ映像情報を来館者やインターネットで配信するものであったが、近年インターネット上に同様の情報が大量にあること、また、新たな情報入手が難しくなったことから、館内での視聴サービスとともにインターネット配信も2019年度に終了していた。しかし、2020年度に入り、コロナ禍におけるオンラインでの科学技術へのアクセスの確保の観点に加え、利用者からの要望もあったため、インターネット配信のみ再開して継続することとした。

(2) TEPIA講演会等の開催

先端技術の動向や課題等の理解を目的に開催するTEPIA講演会は毎年開催してきており、2020年度も秋の開催を企画していたが、コ

コロナ禍の影響のため、次年度に延期した。

5. 調査・広報事業等

(1) 先端技術ベンチャー企業等支援事業

(株)フューチャーパートナーズを通じたベンチャー企業等への支援に関しては、引き続き、既出資先企業の経営状況の把握や助言に努めたが、コロナ禍による経済活動の停滞等を受け、新たな出資先への投資は行わなかった。なお、事業発展の見通しが厳しい出資先1社の保有株式を売却処分した。

(2) 広報事業

TEPIA事業の広報活動として、TEPIAホームページなどにて休館中においてもオンラインによる講座情報などの発信を行った。

6. TEPIA館施設の賃貸

貸会場については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2度にわたる緊急事態宣言の発出もあり、貸会場の利用は全て中止され、年間を通じて貸出を休止した。また、スポーツジム、レストラン及び駐車場の賃貸事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、賃貸先の減収に伴う賃料減免要望に応じた。

次年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に変化が無ければ、暫くは貸会場の貸出の休止が続くものと見込まれるが、新型コロナウイルス感染症拡大が終息した際には、顧客ニーズに対応した営業を展開し、施設の稼働率向上に努めるとともに、利用者の満足度向上・新規顧客の獲得を進め、営業基盤の拡充に努めるものとする。

以上